

中期経営計画

 **サステナビリティ**

2021-2024年度中期経営計画では、「持続的な成長を実現する体質への転換」をテーマに、社会・地球環境への取り組みを強化することを掲げています。グループ サステナビリティ基本方針のもと、国連の持続可能な開発目標（SDGs）を参考に重点課題を特定し、グループ一丸となり取り組みを推進しています。2022年度よりサステナビリティ基本方針に「生物多様性の保全」を追加、内容を一部変更し、サステナビリティに向けた6つの重点課題としました。社会・環境課題解決に取り組んでいくことは、未来に向けた必要な投資であると捉え、「おいしさ・やさしさ・ユニークさ」をもって課題解決に取り組めます。

サステナビリティ推進体制



サステナビリティ基本方針

「愛は食卓にある。」への想いを大切に、さまざまな課題に対して「おいしさ・やさしさ・ユニークさ」をもって取り組み、解決をめざします。そして商品の設計、原料調達から、生産、販売、消費までのバリューチェーン全体を通じて人と環境をおもいやり、笑顔の溢れる未来を創ります。

- 食と健康への貢献**
 - サラダとタマゴのリーディングカンパニーとして、栄養・健康価値を追究し、広く普及することで、世界の人々の健康寿命延伸に貢献します。
 - 未来を創る子どもたちの心と体の健康を、食を通じて応援します。
- 資源の有効活用・循環**
 - 卵のすべてを有効に活用する世界で唯一のメーカーとして、技術を磨き、価値を創造します。
 - 食べ方提案と未利用部の活用により、世界的にユニークな「野菜活用メーカー」をめざします。
 - プラスチックにおける循環型社会の実現のため、商品の環境配慮設計や社外との協働を進めます。
 - 水は限りある貴重な資源と認識し、効率的な利用と取水・排水における環境負荷を低減します。
 - 需要情報と生産・輸配送情報のマッチング技術を深耕し、食品ロスを削減します。
- 気候変動への対応**
 - 原料調達から消費まで、バリューチェーン全体のCO₂排出量削減をめざします。
- 生物多様性の保全**
 - 生物多様性の負の影響を最小限に抑え、生態系の回復、再生に努めます。
- 持続可能な調達**
 - 安全性はもとより、環境や人権への影響に配慮した安定調達をお取引先と協働して進めます。
- 人権の尊重**
 - 従業員のダイバーシティ&インクルージョンを推進するとともに、ビジネスに関わるすべての人の人権を守ります。

 キューピーのサステナビリティ活動 <https://www.youtube.com/watch?v=IY66OHaXsx4>